

○ 草の根パートナー型

平成14年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1.国名	東ティモール
2.事業名	エルメラ県レテフォホ郡におけるコーヒーの品質改良と自給用農畜産物多様化を通じた地域開発プロジェクト
3.事業の背景と必要性	東ティモールの農村地域の社会経済状況を総合的に判断すると、「収入源及び自給用農畜産物の多様化」が貧困緩和の鍵となる。換金作物としてコーヒーを栽培している地域においては、コーヒーの品質を向上させることにより、国内だけでなくフェア・トレードを通じて日本市場への参入を図ることができる。また、自給用農畜産物の多様化は農村の経済基盤の安定化につながる。
4.事業の目的	対象地域における自立的農村経済の形成
5.対象地域	エルメラ県レテフォホ郡の3カ村（レテフォホ村、ドックライ村、ラウアナ村）
6.受益者層	コーヒー生産者グループとその家族および近隣住民
7.活動及び期待される成果	<ul style="list-style-type: none"> ● コーヒーの栽培管理技術とパーチメント精製技術の向上 ● 自給用農畜産物の多様化のための基本技術の普及 ● 山地農民の生活基盤を強化することを通じた農民の組織化
8.実施期間	2003年8月～2006年7月（3年間）
9.事業費	第一年度契約金額：18,213千円（精算金額：15,440千円） 第二年度契約金額：18,296千円（精算金額：17,571千円） 第三年度契約金額：16,989千円
10.事業の実施体制	ピース ウィンズ・ジャパンと受益者メンバーで構成されたグループ「Cafe Tatamailau」が中心となって、共同で事業を実施する。また、モデル農場での栽培管理と研修については、ボン・サマリターノ財団所属の日本人農業アドバイザーに指導を仰ぐ。
II. 実施団体の概要	
1.団体名	特定非営利活動法人 ピース ウィンズ・ジャパン
2.活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 武力紛争及び自然災害の被災者、難民に対する緊急人道支援とその予防・解決への取組み ● 紛争や災害後の地域の復興・開発支援、及び貧困地域の開発支援 ● 貧困や紛争をもたらす社会構造の変革、援助システムの改善への取組み
3.対象国との関係、協力実績	1999年10月以来、対象国において緊急支援及び開発支援を行ってきた。緊急局面における主な活動は、帰還難民(国内避難民を含む)への住宅資材の配布であり、それに引き続いてコミュニティレベルでの経済活動を活性化するための収入向上事業を多数行ってきた。